

都市再生整備計画 事後評価シート

明科駅周辺地区

令和7年2月

長野県安曇野市

都道府県名	長野県	市町村名	安曇野市	地区名	明科駅周辺地区			面積	68.0ha
交付期間	平成30年度～令和4年度	事後評価実施時期	令和6年度	交付対象事業費	1,600百万円	国費率	45.00%		

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	事業名									
		基幹事業	○道路:市道明科4145号線 ○公園:龍門淵公園の活用、あやめ公園の活用 ○地域生活基盤施設(広場):明科駅前広場 ○地域生活基盤施設(情報板):観光サイン ○高質空間形成施設(緑化施設等):国道19号の街路灯、生活の小径、まちなか道路 ○高質空間形成施設(歩行支援施設):スカイドームのバリアフリー化								
		提案事業	○地域創造支援事業(電柱電線類の移設):まちなか道路								
	新たに追加した事業	事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
		基幹事業	○高質空間形成施設(緑化施設等):生活の小径			関係機関協議(地域懇談会他)により削除した			影響なし		
		提案事業	○地域創造支援事業(電柱電線類の移設):まちなか道路			関係機関協議(沿線地権者他)により削除した			影響なし		
		基幹事業	○道路:市道明科1級3号線			事業分割により追加した			影響なし		
		基幹事業	○道路:市道明科4253号線			関係機関協議(地域懇談会他)により追加した			影響なし		
		基幹事業	○地域生活基盤施設(駐車場):明科駅前広場駐車場			事業分割により追加した			影響なし		
		基幹事業	○高質空間形成施設(障害者誘導施設等):駅前トイレ棟			関係機関協議(地域懇談会他)により追加した			影響なし		
交付期間の変更	当初	平成30年度～令和4年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし					
	変更	なし									

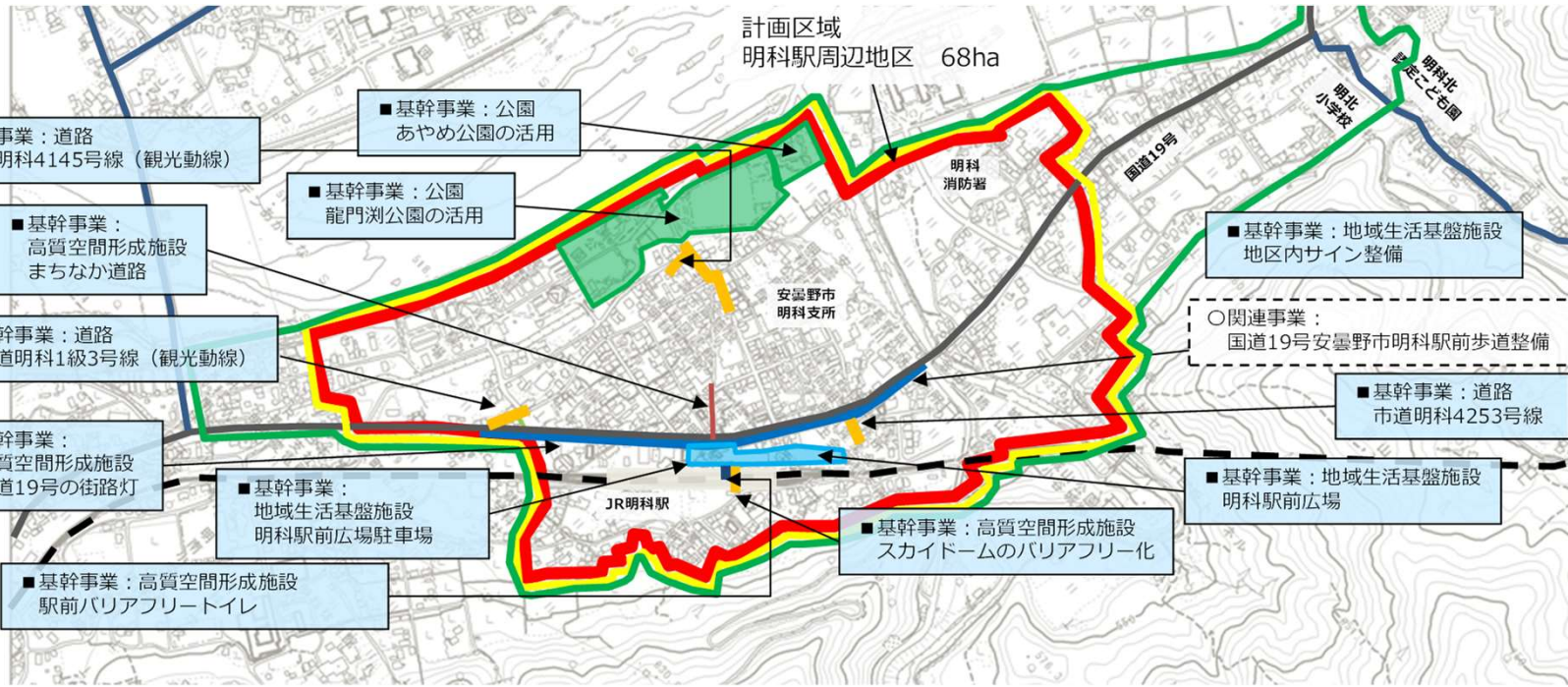
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
	指標1	計画区域内の人口密度	人/ha	7.28	H27	7.28	R04		6.50	△	あり なし	●	国の人口が自然減となっており、計画区域内でも同様の現象が起きていると評価できる。	－
	指標2	国道19号明科駅前交差点歩行者数	人/日	366	H24	370	R04		184	×	あり なし	●	大型商業施設の移転や駅乗降客数の減少、国道19号の歩道整備が未了などが要因だと思われる。	－
	指標3	あやめまつり参加者数	人	40,000	H28	50,000	R04		15,000	×	あり なし	●	R元年度から地域事業に移行し、規模や開催日数を縮小したことが影響している。	－

3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
	その他の数値指標1	明科駅前 まちあるき紹介物件数	戸	0	H29				12				明科駅周辺まちあるき空家空き店舗見学会で不動産物件を紹介することにより、移住、定住に繋がった。	－
	その他の数値指標2	アップルハロウィンイベント来場者数	人	810	R02				3,219				駅周辺から各観光エリアが繋がっており、にぎわい創出に寄与した。	－
その他の数値指標3														

4)定性的な効果発現状況	・地元商店街を中心として設立された「明科駅前まちづくり委員会」から他団体が設立され、活力あふれるまちづくりに寄与した。・道路改良や交差点改良により、通行が円滑になり危険個所が減った。・観光サイン整備を行い、統一されたデザインや設置箇所集約したことにより整理され、来訪者が分かり易くなった。駅周辺の施設が一体的に再整備され、地域イメージの向上と新たな景観形成に繋がった。・公園のトイレや遊歩道の整備がされ、公園利用者が快適に利用できるようになった。												
--------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

5)実施過程の評価	実施内容			実施状況			今後の対応方針等		
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた					
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した					
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					
	官民連携による取組	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた					
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した						
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	持続的なまちづくり体制の構築	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた					
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した						
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						

様式2-2 地区の概要

明科駅周辺地区(長野県安曇野市) 都市再生整備計画事業の成果概要					
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値	目標値
大目標 : 明科の地域特性を活用し、安曇野市の東の玄関口としての魅力向上を図る。 目標1 : 明科駅前を再整備し、交通結節点の機能向上による地域の活性化を目指す。 目標2 : 国道19号を中心に、安全・安心・快適な歩行空間を整備し、歩いて生活できるコンパクトなまちを形成する。 目標3 : 明科が持つ豊富な自然環境を有効活用し、交流人口の増加を図る。		計画区域内の人口密度	単位: 人/ha	7.28 H27	7.28 R04
		国道19号明科駅前交差点歩行者数	単位: 人/日	366 H24	370 R04
		あやめつりの参加者数	単位: 人	40,000 H28	50,000 R04
					評価値
					6.50 R06
					184 R06
					15,000 R06
当該地区  都市再生整備計画の区域 都市機能誘導区域 居住誘導区域 ■ 基幹事業 □ 提案事業 (参考) ○ 関連事業 計画区域 明科駅周辺地区 68ha  ■ 基幹事業: 道路 市道明科4145号線 (観光動線) ■ 基幹事業: 公園 あやめ公園の活用 ■ 基幹事業: 公園 龍門湖公園の活用 ■ 基幹事業: 高質空間形成施設 まちなか道路 ■ 基幹事業: 道路 市道明科1級3号線 (観光動線) ■ 基幹事業: 高質空間形成施設 国道19号の街路灯 ■ 基幹事業: 地域生活基盤施設 明科駅前広場駐車場 ■ 基幹事業: 高質空間形成施設 駅前バリアフリートイレ ■ 基幹事業: 高質空間形成施設 スカイドームのバリアフリー化 ■ 基幹事業: 道路 市道明科4253号線 ■ 基幹事業: 地域生活基盤施設 明科駅前広場 ○ 関連事業: 国道19号安曇野市明科駅前歩道整備 明科北 ひだこ公園 明北 小学校 明科消防署 安曇野市 明科支所 国道19号					
まちの課題の変化	(1) 歩行空間:安全・安心・快適な歩ける空間の整備 ⇒ 道路拡張により、狭小だった道路の歩行者や自動車が安全に通行できるようになった。 (2) 駅前広場:公共交通の利便性向上、バリアフリー化、効率的な施設配置と分かり易さの向上 ⇒ 駅前広場の再整備により、各機能が明確化され、円滑に利用できるようになった。 (3) 駐車場・周辺道路:狭い道路幅員の解消、交差点の安全性向上、利便性の高い駐車場配置・整備 ⇒ 交差点改良や道路拡張により、車両が円滑に通行できるようになった。 (4) 駅利用促進(観光):周辺観光施設の有効活用、案内板、情報板の整備、観光施設等のアピール(観光情報発信) ⇒ 計画区域内に案内板、情報版を設置したことにより、各拠点施設を繋ぎ回遊性を高めた。 (5) 商店街(賑わい):商業集積の弱まり(商店の減少)、商業施設の魅力低下 ⇒ 国道19号整備の関連事業とともに、まちなかの道路整備により、自動車や歩行者が通行しやすくなった。 (6) 街なみ(景観):空家、空き店舗の増加、明科らしさの創出、明科の特色を活かす ⇒ 駅前に旧明科町の町花である「あやめ」を模した時計を設置し、明科らしさを演出した。				
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	・整備した施設を市観光協会を通じて周知し、今後計画される「かわまちづくり計画」と連携し、魅力の発信を行う。 ・サインの統一、各交通結節点(バス・タクシー)の固定など、各案内情報などの乱立を防止する。 ・整備した駐車場の利用率は高く、周辺の民間駐車場と均衡が保たれている。今後も周りを注視し、適宜、利用方法を検討する。 ・国道19号歩道整備の国土交通省を支援し、行政が一体となって進めていく。 ・見学会の利活用に向けたイベント企画により、空家のリノベーション(片付け→設計→DIY→運営)など携わった方々との交流を継続させ、モデル事例の情報発信を行うことで、明科地域の魅力発信を行う。				

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員		令和7年2月5日	都市建設部 都市計画課 都市整備係	安曇野市 都市再生整備計画 評価委員会設置要綱	独自に設置
その他の委員	・横内 健人 明科駅周辺まちづくり委員会 代表 ・松下 尚生 市景観住民協定連絡会役員 副会長 ・山崎 雅子 地域連携ワークショップ 代表者 ・岩垂 巧磨 市商工会青年部 部長(欠席)				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	・特になし。
	成果の評価	・いずれの数値目標も達成できず、当初計画の目標設定に疑義がある。
	実施過程の評価	・特になし。
	効果発現要因の整理	・特になし。
	事後評価原案の公表の妥当性	・特になし。
	その他	・特になし。
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・特になし。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	・明科駅前のメインである、あやめシティー跡地が空地となっているため、行政と一体となり整備する必要がある。 ・国道19号とJR篠ノ井線によって、東西の動線が分断されているため、解消する必要がある。 ・地域活性化の意見を地域住民が発する場がないため、行政との懇談を行う必要がある。 ・長野駅を經由して東京への所要時間が短い利点があるため、パークアンドライド用の駐車場整備が必要である。
	フォローアップ	・特になし。
	その他	・特になし。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・特になし。
その他		・特になし。

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。